

# 温室効果ガス削減目標達成に向けた取組

## ■ひょうご水素社会の推進：3.5億円

水素社会の実現に向けた気運醸成を図り、産学官連携した取組の更なる加速化を図るべく、知事をトップとした「ひょうご水素社会推進本部」を設置し、県庁一体で取組を推進

### ●「ひょうご水素社会推進会議」の設置：214万円<sup>【新】</sup>

2050年の兵庫水素社会の実現に向け、先導的取組を本格展開（県、地元自治体、企業、有識者により構成）

### ●水素を活用したI社<sup>®</sup>-地産地消E<sup>®</sup>導入：270万円

水素を製造・貯蔵・活用するI社<sup>®</sup>-の地産地消E<sup>®</sup>の構築・実装を目指した計画策定・施設設計

### ●成長産業における試作開発への支援：3,000万円<sup>【新】</sup>

水素分野を含む成長産業分野における新製品の社会実装を目指す県内中小企業を支援（上限300万円）

### ●成長産業育成のための研究開発への支援：7,212万円

水素など成長産業分野に産学官連携で研究開発等に取り組む県内中小企業を支援（可能性調査：～100万円、応用研究：～1,000万円）

### ●カーボンニュートラル(CNP)形成計画の策定：3,000万円<sup>【新】</sup>

姫路港におけるCNP(※)形成計画策定に向けた検討会や次世代エネルギーの需要推計等を実施

- ※CNP…以下の取組を通じ、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする港湾
- ・水素・燃料アモニア等の大量かつ安定・安価な受入環境の整備
  - ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
  - ・集積する臨海部産業との連携

連携

### ●水素ステーション等整備の促進：7,250万円<sup>【拡】</sup>

燃料電池モビリティを促進するため、水素ステーション、パッケージ型水素供給設備(※)、燃料電池バスの導入費用を支援

※パッケージ型水素供給設備(右写真)

- ・規模は小さいが低コストで設置可能
- ・移設が可能、設置リスクが低い
- ・現地で水素を製造するため、輸送コスト不要



## ■太陽光発電の導入拡大：5,600万円

### ●県有施設への再生可能I社<sup>®</sup>-導入ポテンシャル調査：1,200万円<sup>【新】</sup>

PPA方式による県有施設への太陽光発電導入を見据え、未利用スペース等への導入可能性調査を実施（県有施設の駐車場等 約500施設）

### ●再生可能I社<sup>®</sup>-導入による地域循環共生圏

#### 創出事業：1,000万円

荒廃農地の再生と合わせたソーラーシェアリングやため池ソーラー発電等、未利用地を生かした再エネのポテンシャル調査を実施

## 【新】■Jクレジット制度の取組支援：110万円

間伐等の森林整備効果をクレジットとして発行・売買できる制度を活用し、新たな収益で市町等による森林整備が進むよう支援(クレジット発行に必要なCO<sub>2</sub>吸収量算定資料の作成を支援等)

※省I社<sup>®</sup>設備の導入や再生可能I社<sup>®</sup>-の活用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証し、売買できる制度